

## 3月ダイヤ改定小名木川駅廃止などで 貨物関東支社と団体交渉(二月二日)

二月二日貨物関東支社に  
おいて、三月ダイヤ改定と小名木  
川廃止問題について動労千葉  
が申し入れた申第七号の交渉  
が行われ、本部・貨物両支部  
から七名が参加した。はじめ  
に支社側より別紙のとおり回  
答文が読み上げられたのち、  
具体的質疑が行われた。

二月二日貨物関東支社に  
おいて、三月ダイヤ改定と小名木  
川廃止問題について動労千葉  
が申し入れた申第七号の交渉  
が行われ、本部・貨物両支部  
から七名が参加した。はじめ  
に支社側より別紙のとおり回  
答文が読み上げられたのち、  
具体的質疑が行われた。

た、王子製紙の紙も倉庫が  
豊洲から隅田川への変更もあ  
り減った。二四本から今後  
十二本になる。

一旦なくすと再開は無理  
となる。地元自治体の開発  
案が新聞に出ている。今後  
京葉線乗り入れ、東京タへ  
の乗り入れの現実性は。

今回千葉中心の申し入れ  
となったが、前回議論した  
項目もある。貨物本社は経  
営が行き詰まっているなか  
で、より縮小している局面  
が切り開けるのか。小名木  
川駅廃止も、全国三十駅廃  
止の一つだから我慢しろと  
いうのか。隅田川駅へ持つ  
ていくだけでいいのか。

小名木川の再開発はモー  
ダルシフト、環境問題等の  
事業を進めている。臨海副  
都心ルートについては、本  
社で勉強している。トンネ  
ルはできているが、架線・  
レールはまだ。

廃止はモーダルシフトに  
逆行しているのでは、東京  
都もディーゼル車を規制し  
ようとしている。また大規  
模災害時等のとき隅田、東  
京タだけでいいのか。

車扱いの落ち込みが激し  
いので、主要2駅あれば相  
互にフォローできる。災害  
時にはケースバイケースで  
コンテナ化等対応していく。

コンテナ輸送はS35年開  
始され、車扱い輸送からコ  
ンテナにかわっていった。  
小荷物扱いが当時隅田川駅  
でパンクしたのでコンテナ  
輸送を小名木川駅に振り替  
えた。小名木川駅だけの荷  
はない、いま車扱いはして  
いない。現在は中継駅であ  
り、京葉線乗り入れで使命  
は果たしたと考えている。

新形式EF210は京葉  
線乗り入れの確認は取れて  
いる。両数がそろえば千葉  
地区へも入ってくる。  
更新工事は、65・64

老朽車両を置き置き増  
新形式EF210は京葉  
線乗り入れの確認は取れて  
いる。両数がそろえば千葉  
地区へも入ってくる。  
更新工事は、65・64

老朽車両を置き置き増  
新形式EF210は京葉  
線乗り入れの確認は取れて  
いる。両数がそろえば千葉  
地区へも入ってくる。  
更新工事は、65・64

老朽車両を置き置き増  
新形式EF210は京葉  
線乗り入れの確認は取れて  
いる。両数がそろえば千葉  
地区へも入ってくる。  
更新工事は、65・64

老朽車両を置き置き増  
新形式EF210は京葉  
線乗り入れの確認は取れて  
いる。両数がそろえば千葉  
地区へも入ってくる。  
更新工事は、65・64

老朽車両を置き置き増  
新形式EF210は京葉  
線乗り入れの確認は取れて  
いる。両数がそろえば千葉  
地区へも入ってくる。  
更新工事は、65・64

老朽車両を置き置き増  
新形式EF210は京葉  
線乗り入れの確認は取れて  
いる。両数がそろえば千葉  
地区へも入ってくる。  
更新工事は、65・64

含めて8両を新年度に計画  
している。  
実際に老朽化による故障  
が増えているのは事実であ  
る。故障する前に早めに対  
処してほしい。

65形式に故障が増えた  
のは事実。更新はしたいが  
予算との関係もある。でき  
れば新型を入れたいのだが  
東日本の廃車の機関車を買  
う場合でも一千万円以上す  
る、西日本は安かったため  
買ったようだが(注・旅客  
会社は貨物会社より車歴の  
新しい機関車を廃車にして  
いる、それを貨物会社が買  
うことについて)

新小岩の構内に、もう一  
両入れるのは無理がある。  
鹿島線電化を想定して構内  
を計画したので、DLがあ  
り新小岩には置けない。

鹿島線の電化は。  
4年前位に検討したこと  
がある。その時は2つの橋  
がELの重量に耐えられな  
いのでダメとのことだった。  
最近またそれが燃え上がっ  
ているようだが、具体的  
ことはまだなにも。

DD51のSG付きは運  
転席もせまく冷風装置もな  
い。第2交B検査の期間中  
長期に他支社から車両を借  
りているなら、千葉へ1両  
配置できないか。

1両あまっているのは阪  
神大震災で北海道から1両  
入れたから。当該の機関車

の故障が多いのは聞いてい  
る。機関車の差し替えは本  
社に要請している。冷風装  
置は予算を含めて無理、既  
設の修繕はする。

本社とも協議してやつて  
ほしい。

詰め所の整備は、所属を  
含めて確認し対応してい  
たい。電話も確認してみ  
て、日常的に起きてること  
であり、可能な限りやつて  
もらう。

動労千葉申第七号  
2000年2月8日

申し入れ

平成12年2月24日

申し入れ事項	回答及び見解
1、「小名木川駅発着列車の見直し」として「京葉線開業時には、小名木川駅の貨物取扱業務は廃止する」となっているが、東京東部地区の物資集積機能を維持する点からも、越中島貨物駅を含む小名木川駅の貨物取扱業務を京葉線開業後も継続すること。	1、小名木川自駅の荷については、現在は、南向けについては東京(夕)へ直送(代行)しており、北向けについては自駅発の列車を利用していましたが、今、ダイヤ改正では、隅田川へトラックで直送することになっている。従って、臨海鉄道の発着のサービスダウンにならないように、その部分についての業務は残っているが京葉線開業時にはその使命が終わることになる。
2、「列車防護要員の見直し」とあるが、具体的実施時期について明らかにすること。	2、運輸局の指示を受け、運心改訂後3月11日となる予定である。
3、EF65形式機関車の老朽化対策として、更新工事及び特修工事を継続して実施するとしているが、工事を早急に進めるとともにすみやかに運用に投入すること。また今後、総武線、京葉線への新形式車両投入の計画の如何について明らかにすること。	3、更新工事、特修工事については、計画的に実施する。新形式車両の投入計画は、本社事項である。
4、上記第2項が完了するまでの間、異状時対策として千葉機関区および新小岩派出において、必ず一両は24時間帯泊がとれる機関車運用を行うこと。	4、機関車両数にも限度があり、現状で協力されたい。
5、DD51について、千葉機関区配備車を「SGなし」に統一するとともに「冷風装置」を完備すること。さらに、DD51を一両増配備すること。	5、機関車の配備については、本社権限事項である。冷風装置については、現状で対処されたい。DD51形式の一両増については、困難であり理解されたい。
6、DD51の運転検査を停車時分の長い佐倉駅にて行う機会が多いことから、旧佐倉機関区誘導詰所を整備し、鉄道電話を備えること。また、同詰所付近にトラック一台分の駐車スペースを確保すること。	6、現状で対処されたい。